

東京都港区芝総合支所主催 平成29年度事業者向け防災セミナー「来るべき災害に備えBCPの策定・見直しを考える」の講師を務めました(2017/8/23、31、9/5)

テーマ：事業継続計画（BCP）、企業防災
場所：AP浜松町（東京都港区）

8月23日(水)、31日(木)、9月5日(火)の3日間にわたる東京都港区芝地区総合支所主催の事業者向け防災セミナーにおいて、災害科学国際研究所の丸谷浩明教授（人間・社会対応研究部門 防災社会システム研究分野）が、事業継続計画（BCP）の策定や見直しに関する講演とワークショップを担当しました。

8月23日にはBCPの見直しを行う企業を対象に実施して30社程度が参加し、8月31日と9月5日にはBCPの新規策定を行う企業を対象に実施し、それぞれ30～45社が参加して開催されました。3時間構成のセミナーで、内容は次のとおりでした。

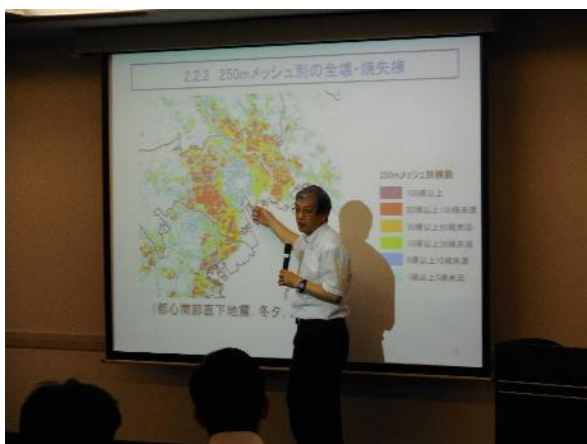
第1部 『港区の震災対策』 講師：港区職員

第2部 『BCP策定の考え方』または『BCPの実効性のチェックを踏まえた既存のBCPの見直し』 講師：丸谷浩明

第3部 『ワークショップ』 講師：丸谷浩明

第1部では港区の職員より首都直下地震が都心南部直下で発生した場合の最大被害想定や港区としての備えの説明が行われ、それを受けて、第2部では丸谷よりBCPの基礎的知識と有効に策定する方法を説明し、都心部における大地震の被害では現地復旧に時間がかかりすぎる可能性も示しました。また、第3部のワークショップでは、6～8班に分かれて、大被害が発生した場合に必要な都心部外の代替拠点を活用する事業継続戦略を考え、そのうえで、より小さな被害では都心部でも現地復旧が可能となるが、重要業務の実施に不可欠なリソースがどの程度確保できるかによることを議論しました。

本件のセミナーは、2013年以来、毎年丸谷が講師を依頼され、都心部に立地する企業の特徴を踏まえたBCPの講演をしています。また、丸谷が今年から研究室のHPで公表を開始した「中小企業BCP導入ガイド」(URL: <http://maruya-laboratory.jp/bcm-bcp>)の考え方や様式集なども、今回から教材に取り入れました。



講演の様子